

平成30年度 事業報告書

公益財団法人ふくい産業支援センター

平成30年度 事業報告

概要

我が国経済が緩やかな回復を続ける中で、当センターでは平成27年4月に福井県が改訂した「福井経済新戦略」にもとづき、県内企業の新分野進出等を促進する中核的支援機関として県や他の機関等と連携を図りながら、新しい取り組みに意欲的にチャレンジする企業を積極的に支援しました。

国の委託事業により昨年度構築した事業承継支援を担う関係機関のネットワーク運営にて掘り起こされた承継ニーズに対して、事業承継コーディネーターが各機関と連携しながら個別支援を行うなど、本件における事業承継の促進を図りました。

県が新たに開設した「ふくいAIビジネス・オープンラボ」を運営し、県内企業のAIやIoT導入促進を支援したほか、展示会への出展支援等によりAIやIoT等を利用している県内のIT企業の受注拡大を支援しました。

創業予定者を対象とした各種相談への対応や、ビジネスプラン策定等に関するワークショップの開催などを通して、創業の後押しと事業化までの支援を行いました。また、ピッチイベントの開催によりビジネスパートナー獲得や資金調達を支援したほか、新規事業として学生等の起業にかかる経費の一部を助成するなど、起業・創業の促進を図りました。

従来の大手食品卸売企業等との商談会の開催に加え、今年度は新たに大規模食品展示会への出展を支援したほか、県外食品バイヤーによる県内企業視察を行うなど、更なる販路拡大に向けた支援を行いました。

新たな「ふくいの逸品創造ファンド事業」のほか、「おもてなし産業魅力向上支援事業」、「事業承継円滑化支援」など、新規の助成事業を創設・実施することにより、観光客受入態勢の強化や経営者の世代交代など、県内企業の今後の環境変化への対応を支援しました。

「ふくいオープンイノベーション推進機構」で行う産学官金の共同研究を、県等と連携して積極的に支援・実施すると共に、産業技術総合研究所等との共同研究に向けた可能性試験調査研究等の実施をとおして、新たな成長産業分野への技術開発を支援しました。

サンドーム福井に整備された「福井ものづくりキャンパス」における講座・教室等の開催などに加え、新たに外部専門家による商品企画やデザイン等の指導から主要百貨店等の商談会への出展支援まで総合的にサポートすることで、売れる商品づくりを支援しました。

中小企業産業大学校において、体系的な集合研修のほか、「ものづくり改善インストラクタースクール」を継続して開講し、幅広い人材の育成を支援しました。また、スクールで養成した業務改善等に詳しいインストラクターの派遣も件数を増やして実施することで、より多くの県内ものづくり企業の生産改善活動を支援しました。

事業報告

経営相談、創業・経営革新支援、経営情報の収集・提供に関する事業 【公益目的事業1】（326, 127, 326円）

中小企業等が抱えるさまざまな経営課題に対して、各分野の専門家の適切な助言や施策あつせん、創業間もない企業や新商品開発・新事業展開に取り組む企業への事業計画作成支援・課題解決への助言および取組みの推進、中小企業のIT活用の促進、企業経営に役立つ地域経済・産業および中小企業動向等に関する情報提供を行いました。

（1）経営相談サポート（6, 291, 462円）

①総合相談

企業経営に関する幅広い知識と財務や技術等の専門的なノウハウを持つ中小企業診断士が総合相談窓口において、職員と連携しながら創業、経営革新、IT活用等の相談に対して適切な助言を行いました。

○相談実績 1,360件 うち女性経営者からの相談 136件

《主な相談内容》

- ①融資・補助金に関する相談（39%）
- ②経営指導に関する相談（24%）
- ③経営革新に関する相談（8%）
- ④情報提供に関する相談（5%）
- ⑤販路開拓に関する相談（2%）
- ⑥新規創業に関する相談（1%）

②新事業展開ワンストップ相談会

事業承継に伴い経営革新等に取り組む中小企業等が抱える悩みに応えるため、各地で当該分野の専門家を交えた相談会を開催し、適切なアドバイスを行いました。

○相談会開催回数 17回 相談実績 72件

（2）嶺南サテライトオフィス設置（4, 437, 127円）

アクアトム（敦賀市）2階に設置したサテライトオフィスを拠点として、専門家による各種の相談対応や職員の地域企業等の巡回等を通じて経営相談対応や起業・創業等のサポートを行いました。

○嶺南企業訪問数 1,016社 施策活用実績 685件（256社）

（3）専門家派遣（8, 063, 360円）

創業を目指す起業家や中小企業者等が抱えている技術開発、商品開発、マーケティング、情報化等、様々な経営課題を解決するため、それぞれの分野に精通した知識や経験を有する専門家を相談者の事業所に派遣（上限10回）し、課題解決のた

めの適切な指導・助言を行いました。また、小売業、サービス業の創業予定者や中小企業等が5社以上のグループで取り組む付加価値向上等の課題を解決するため、それぞれの分野に精通した知識や経験を有する専門家をグループに派遣（上限20回）し、課題解決のための適切な指導・助言を実施しました。

○派遣先企業数 26社 派遣回数 226回

※参考 [類似事業]：中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援（近畿経済産業局ミラサポ専門家派遣）での専門家派遣（無料、原則1企業3回まで）
派遣先企業数 8社 派遣回数 18回

(4) よろず支援拠点 [経済産業省委託] (46,020,505円)

中小企業・小規模企業者の経営支援体制をさらに強化するために国が設置した本県の「よろず支援拠点」として、よろず支援コーディネーター等と共に総合的先進的経営アドバイスや、的確な支援機関・支援施策等の紹介等をワンストップで行いました。

《チーフコーディネーター》1名 《コーディネーター》11名

○相談実績 3,054件

(5) 高度化事業診断・指導 (699,119円)

①高度化事業診断受託

県が実施する中小企業高度化事業に伴う診断業務を受託しました。

○診断件数 5件

②高度化資金貸付先指導受託

県の高度化資金貸付先のうち正常な貸付先を対象に、中小企業診断士資格を持つ職員がヒアリング調査を実施し、経営状況の把握および適切な指導を行う業務を受託しました。

○指導件数 1件

(6) 福井県事業承継ネットワーク運営 (163,938円)

事業承継支援を担う関係機関のネットワークを構築し、各機関と連携しながら、事業承継診断の実施やニーズの掘り起こし、課題解決のための支援機関の連携など、事業承継の促進を支援しました。

○連携会議の開催 1回（6月18日 福井県産業情報センター）

○事業承継ポータルサイトの運営

(7) 新 プッシュ型事業承継支援高度化 [中小企業庁委託] (26,268,477円)

福井県と共同で事業承継支援を担う66機関のネットワークを構築し、各機関と

連携しながら、事業承継診断の実施やニーズの掘り起こし、課題解決のための支援機関の連携等を図りました。

福井県事業承継ネットワーク運営にて掘り起こされた承継ニーズに対し、専門家（コーディネータ）が事業引継ぎ支援センターをはじめ各支援機関との連携をはかりながら個別支援を行いました。

○専門家の配置

- ・承継コーディネーター（事業進捗等の責任者）：1名
- ・サブ/ブロックコーディネーター（地域・業種担当）：3名

○事業承継支援戦略の作成

事業取組の実効性を確保する観点から、事業承継の支援体制や支援方法、目標などを取りまとめた支援戦略を作成しました。

○事業承継診断の実施 5, 485件

○セミナー・勉強会の開催 2回 参加者 163名
(企業向け1回、構成機関向け1回)

(8) Eビジネス・キャリアアップ支援 (3, 113, 803円)

県内中小企業等のインターネットを活用した商品・サービスの販路拡大の支援を強化するため、WEBサイトの構築やマーケティングなどネット通販・取引に関する情報提供や、支援施策の紹介・あっせん等を一元的に行う「ネット通販・取引支援センター」を運営しました。また、これからネット通販に関心を持つ県内の学生、女性を対象に、ネット通販に関する知識とノウハウを習得するワークショップを実施するとともに、参加者と県内ネット通販事業経営者との交流会を開催することで県内Eビジネス人材の強化を図りました。

○ネット通販取引支援センターの運営

来訪者数 1, 983人 資料貸出利用件数 2, 060件
相談対応件数 221件

○ネット通販の運営スキル習得ワークショップと交流会の開催

開催回数 年10回 延べ参加者数 121人

(9) 新 ふくいAIビジネス・オープンラボの運営 (6, 649, 645円)

AIやIoTを活用した業務の改善・効率化や、新サービスの創出を促進するため、最新のAIアプリケーションやサービスロボット、IoT機器等のビジネス活用や技術に関する相談対応や展示コーナーの運営、各種セミナーや勉強会、プログラムの開発体験等を実施する「ふくいAIビジネス・オープンラボ」を開設し、運営しました。

あわせて、「福井県IoT推進ラボ」を国や県と連携をはかりながら運営し、県内

企業のIoT活用に関する情報提供、モデルプランづくり等を支援しました。

○ふくいAIビジネス・オープンラボの運営

来訪者数 2,080人 相談対応件数 51件

○セミナー等の開催

・最新事例セミナー	2回	86人
・ワークショップ	3回	23人
・技術勉強会	5回	65人
・見学会	10回	467人

(10) 福井県産業情報センター運営 (120,398,323円)

①産業情報センター施設運営

県からの指定を受け、福井県産業情報センターの各施設・設備の貸出業務や維持管理等の運営業務を行います。小割化した入居施設やコワーキング^(*)スペース、マルチメディアサポートセンターに整備した4Kカメラや編集機器、インターネット配信機器等の最新映像機器を有効に活用しITベンチャーが利用しやすい環境を提供して、情報化に関連した創業者の育成、情報産業振興の拠点施設として利用促進を図りました。

〔※フリーランスの方や起業家などが事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う新しいワークスタイルです。〕

<施設の入居および貸出件数>

○インキュベートルーム、共同研究室、技術開発室の入居件数	382件
○マルチホール、会議室等の施設貸出件数	853件
○マルチメディア制作コーナーの施設貸出件数	166件
○コワーキングスペース利用者数	2,295人
○嶺南支所パソコン実習室の施設貸出件数	18件

②情報化人材育成

県内の情報化人材の育成・確保を図り、中小企業等の情報化を支援するため、日常業務に役立つ実践的な研修やインターネット販売等の電子商取引(EC)、IoTやビッグデータ分析などの各種研修を産業情報センターおよび情報センター嶺南支所で実施しました。

○ITコース 57講座(80回) 受講者数 1,026人

(11) ⑧ ITビジネスマッチング推進 (4,765,692円)

IT企業リストの作成や展示会への共同出展をとおして、IoT・AI・マルチメディア分野など「次世代IT」を利用している県内のIT企業の情報を広く周知

し取引拡大を支援しました。

○IT見本市「シーテック・ジャパン」への共同出展

出展企業数 8社 来場者数 156,063人

○IT関連企業の業務内容調査

掲載社数 48社

(12) ITセミナー (1,701,495円)

IOT・AI・マルチメディア分野など「次世代IT」を活用した県内中小企業の課題解決や新たな付加価値の創造、新ビジネスの創出を促進するため、IOTやAIに関するビジネス活用や最新技術に関するセミナーおよびマッチング交流会を行うとともに、技術者を中心としたアプリ開発合宿を行いました。

○ビジネス活用セミナー・交流会 7回 受講者数 242人

○IT技術活用セミナー・交流会 2回 受講者数 35人

○地元IT企業と中小企業等のビジネスマッチング交流会 1回 共同出展 8社

(13) 学生ソフトコンペティション (513,705円)

学生対象のソフトウェアコンペティションを実施しました。アプリケーション作品などを公募・審査し、次世代を担うIT技術者の発掘・育成を図りました。

○大賞1点、優秀賞2点、福井県IT産業団体連合会会長賞1点、
協賛企業賞 15点

(14) 経営安定アフターフォロー (780,182円)

創業間もない企業や経営革新計画の承認を受けた企業などが事業を遂行する上で抱える経営上の悩みや問題を早期に把握し、それら課題の解決を図るため、コーディネーターとセンター職員が、相談者の事業所を訪問して指導・助言を行いました。

○訪問企業数 42社 (経営革新27、専門家派遣10、総合相談5)

(15) 支援センター見える強化 (6,514,557円)

情報誌やホームページ、イベント開催等を通じて、当センター事業や成果のほか、企業経営や産業に関する情報を広く発信しました。

①情報誌「F-FACT」

最新の経済トピックスをテーマとした特集や、経営、マーケティングに役立つ連載、新事業に取り組む県内企業インタビューなど、県内企業に役立つ情報を掲載した情報誌を隔月で発行しました。

○年6回 (奇数月発行) 発行部数 3,900部/回

②インターネットによる情報提供

当センターホームページをより利用しやすくリニューアルするほか、SNS

を積極的に活用して、企業に役立つ情報をタイムリーに発信しました。

③メディア向け合同プレゼンテーション会

当センター事業を活用した企業を対象に、事前にプレゼン指導等を行い、メディア向けに新商品や新しい取り組みを発表するプレゼンテーション会を開催しました。また、企業のプレゼンテーションの様子を当センターのホームページでLIVE配信するほか、いつでも閲覧できるようにすることで、企業のPRを支援しました。

○開催回数 2回 参加企業数 9社 参加メディア数 延べ6社

④情報センターを会場としたイベント

kumando ウィークとして、ソフトパークふくい(協)と連携し、情報化をテーマとした基調講演やワークショップ、セミナー等を情報センタービルにて集中的に実施しました。

○基調講演 1回 ※ 台風21号の影響により中止。

○ワークショップ 3回 参加者数 129名

(参考) 他の事業によるセミナー等 6回 参加者数 265名

⑤冊子やパネルによる広報

支援成果を紹介するパネル展の開催や、パンフレット、活用事例集、中小企業施策ハンドブック等を作成・配布して事業の周知に努めました。

(16) ふくいナビ等機器管理 (8, 125, 848円)

「福井県産業情報ネットワーク」(愛称:「ふくいナビ」)の機器管理およびホームページやメールマガジンの運営を行い、中小企業支援機関における情報の共有化を推進しました。

○メールマガジン「ふくいナビ情報」講読者数 1,967人(30年度末現在)

(17) ふくい創業者育成プロジェクト (8, 375, 444円)

創業者向けのセミナーの開催や相談・助言を行うことにより、女性や若者、U・Iターン希望者などの創業への取り組みを支援しました。

①ふくい創業者育成体制整備

(ア) 創業マネージャー設置

創業から事業化までを伴走型で支援する創業マネージャーを6名配置し、産業情報センターコワーキングスペースを拠点として創業者等への相談対応を行いました。

○相談実績 442件

(イ) 福井ビズカフェ

創業セミナー・交流会「福井ビズカフェ」を開催し、創業に関する情報の

提供や創業意識の醸成、創業希望者の発掘を行いました。

○開催回数 5回 参加者数 145名

(ウ) 創業塾（ふくい創業者ゼミ）

創業間もない起業者を対象に、少人数制のワークショップにより、講師のアドバイスをとおしてビジネスをブラッシュアップするための実践型セミナー「ふくい創業ゼミ」を開催しました。

○開催回数 1回（4回シリーズ） 参加者数 32名

②ふくい女性創業チャレンジ支援

(ア) 女性創業窓口設置

ふくい女性活躍支援センター（運営：（公財）ふくい女性財団）内に、創業を希望する女性に対する相談窓口を定期的に設置し、創業に関する課題に対して助言を行いました。

○相談件数 48件

(イ) 女性向け創業セミナー

女性の先輩起業家をメンターとして、ライフスタイルを「起業」に活かすプチ起業などの創業意識の醸成を図りました。また、自社の商品をPRするためのプレスリリースの方法についてノウハウを習得するワークショップを実施しました。

○開催回数 5回 参加者数 130名

(ウ) 女性向け創業塾（ふくい女性創業チャレンジ塾）

創業の意思はあるものの詳細な事業内容にまで詰めていけない女性を対象に、少人数制のワークショップ型勉強会「女性創業チャレンジ塾」を開催しました。

○開催回数 1回（6回シリーズ） 参加者数 48名

③ピッチイベント（福井ベンチャーピッチ）

成長発展志向の起業家によるビジネスパートナーの獲得や資金調達を目的としたビジネス・プレゼンテーション・イベント「福井ベンチャーピッチ」を福井と東京で各1回開催し、県内ベンチャーの成長と新事業進出の促進を支援しました。

また、関連セミナーとして、IPOを目指すスタートアップ企業を対象に資本政策の知識を習得するためのセミナーおよび個別相談会を開催しました

○福井ベンチャーピッチ

開催回数 2回 登壇者数 12名 聴講者 261名

○スタートアップ勉強会

開催回数 2回 参加者数 14名

(18) 起業・創業促進 [独立行政法人中小企業基盤整備機構委託] (231, 047円)

創業補助金を取り扱う福井県の地域事務局として、既に採択を受けて創業や第二創業に取り組んでいる中小企業等へのフォローアップ等を行いました。

(19) 経営革新等計画サポート (-)

①経営革新計画作成支援

中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新について、中小企業診断士の資格を持つセンター職員が、ヒアリングや現地訪問を通じて計画作成に関する助言等を行いました。

○経営革新承認件数 12件

②新連携事業計画作成支援

中小企業新事業活動促進法に基づく新連携について、中小企業基盤整備機構北陸支部と連携し、申請方法や計画作成に関する助言等を行いました。

販路開拓支援に関する事業【公益目的事業2】(101, 398, 829円)

県内中小企業の自社商品や製造・加工技術等情報を広く発信するとともに、県内外企業からの発注情報を提供したり、各種商談会・展示会への出展を後押しすることで、県内外および海外企業との取引拡大と受注の安定を支援しました。

(1) ①ふくいの食品戦略的販路拡大支援 (9, 581, 605円)

県内外への販路開拓を希望する食品関連業者を対象に、大規模食品専門展示会および食品商社が主催する展示会への出展支援や小売店等の仕入れ担当者との商談会の開催等により、取引マッチングの機会を提供しました。

また、WEBサイトを活用した商品情報の提供や食品バイヤーとの個別取引マッチングなどを行いました。

①大規模食品専門展示会 (スーパーマーケットトレードショー) への出展支援

出展企業 全28社 ※支援センター20社、敦賀・小浜商工会議所各4社

来場者数 88,412名 (主催者発表)

②食品専門商社が主催するプライベート展示会への出展支援 4回

③食品バイヤーによる産地視察支援および小売店等との商談会の開催

○食品バイヤーによる産地視察 1回

○小売店との商談会 2回

④食品バイヤー向けWEBサイトの運営

○登録企業数 90社 (掲載商品累計 260品目)

○展示商談会やWebサイトを通じたマッチング件数 761件

(2) 取引マッチング(3,736,338円)

①受発注情報等収集提供

(ア) 取引あっせん業務

○受発注企業の新規登録数 52社 取引あっせん紹介 458件

(イ) 県内受注企業の情報収集・提供

インターネットを活用して県内企業の製品や保有技術を情報発信し、県内外の企業との取引マッチングのサポートを行いました。

また、県内企業の販路拡大を図るため、県外で開催される展示会および金融機関が開催する展示会に出展し、福井県のものづくり企業の保有技術や製品を紹介するとともに取引マッチングを行いました。

○ビジネスマッチングステーション((公財)全国中小企業取引振興協会のマッチングサイト)への新規登録数 2社

(県内登録企業総数263社)

(ウ) 発注企業開拓調査

県内中小企業の受注機会の増大と取引の広域化を図るため、県外の発注企業における生産ならびに外注企業利用の現状と今後の計画等を調査しました。

(エ) 福井県元気企業ものづくり商談会の開催

関西・中部地域を中心とした発注企業および県内でのパートナーを探している県内発注企業と県内の中小製造業との事前予約型商談会「福井県元気企業ものづくり商談会」を開催しました。

○福井県元気企業ものづくり商談会

発注企業 24社 受注企業 32社

商談件数 103件

(オ) 合同広域商談会の開催

近畿6府県、四国4県および鳥取県の計11府県の支援センターと(公財)全国中小企業取引振興協会が連携し、合同商談会を開催しました。

○近畿・四国合同広域商談会(京都)

参加受注企業329社 うち本県企業 12社 商談件数 35件

(カ) その他

近畿経済産業局の販路マッチングナビゲート事業や中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネート事業等の紹介を行いました。

(3) 下請かけこみ寺 [(公財)全国中小企業取引振興協会委託] (509,052円)

下請取引の適正化を推進するため、「下請かけこみ寺」において、専門家による相談対応や紛争解決の支援を行いました。

①相談業務

中小企業の取引に関する相談窓口「下請かけこみ寺」を設置し、専門家が対応しました。また、下請取引上で発生した苦情やトラブルについて、登録弁護士が無料で相談に応じました。

○相談件数 60件

○無料弁護士相談 16件

②裁判外紛争解決(ADR)業務

中小企業者が抱える下請取引等に関するトラブルを、裁判外紛争解決(ADR)手続きにより調停を実施し、迅速な解決を図るため、県内企業に対して制度の紹介など普及啓発を行いました。

③移動相談会等の開催

中小企業者の取引に関する相談について、登録弁護士が出向き「移動相談会」を開催しました。

○開催回数 9回 相談件数 3件

(4) 取引情報提供 (2,190,709円)

県内外の優良企業からの発注情報を広く収集し、県内企業に対して適時適切な情報提供を行い、受注機会の増大に努めました。

(5) 海外事務所運営管理 (32,051,900円)

福井県が中国に開設している上海事務所の運営管理を行いました。

(6) ふくい貿易促進機構運営 (25,952,503円)

アジア市場における県内企業の販路拡大を促進するために県と経済界等が設立した「ふくい貿易促進機構」において、県とともに機構の活動拠点である「ふくい上海ビジネスサポートセンター」、「ふくいバンコクビジネスサポートセンター」および「ふくい貿易促進プラザ」の管理運営等を行いました。

○ふくい上海ビジネスサポートセンター 相談件数 500件

○ふくいバンコクビジネスサポートセンター 相談件数 1,270件

○ふくい貿易促進プラザ（福井商工会議所内）	相談件数	57件
○FOOD TAIPEI 2018@台湾	参加企業	県内 4社
○FOOD EXPO 2018@香港	参加企業	県内 5社
○FOOD JAPAN 2018@シンガポール	参加企業	県内 3社
○ものづくり商談会@バンコク2018	参加企業	県内 1社
○日中ものづくり商談会@上海2018	参加企業	県内 6社
○食文化提案会・商談会（香港、バンコク）	参加企業	のべ45社
○浙江省における本県プロモーション	出品企業	16社
○香港における本県アンテナショップ設置	出品企業	県内24社
○東南アジアマーケティング支援事業	参加企業	県内 7社

（7）福井ふるさとエコノミー推進（159,637円）

地元企業間の取引を活発化させ、県内でお金とモノを循環させる福井ふるさとエコノミーを推進するため、ビジネスマッチング交流会等を開催しました。

○支援機関等の営業人材ネットワークの構築

営業人材ネットワーク参加者 37名（※H31年3月末現在）

○経済若手4団体^(※)会員を対象としたビジネスマッチング交流会 1回 参加者 89名

※県商工会議所青年部連合会、県商工会青年部連合会、県中小企業団体中央会、
日本青年会議所北信越地区福井ブロック協議会 会員数 延べ約2,200名

資金支援に関する事業【公益目的事業3】（429,897,148円）

県内中小企業等の地域資源を活用した商品開発や新分野展開、県内ものづくり企業への技術系人材の就職促進に対して資金支援を行うことや、必要な設備の割賦販売またはリースを行います。

（1）ふくいの逸品創造ファンド（639,000円）

地域産業の活性化を図るためにふくいの逸品創造ファンドの運用益で、地域資源を活用した中小企業等の商品開発や販路開拓等に対して助成しました。

①地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援

県内の特色ある産業資源（福井の強み）を基に、顧客ニーズを的確につかんで商品計画を立て、最も有利な販売経路を開拓する中小企業等の取り組みに対して、市場調査やテストマーケティング、販路開拓等の経費の一部を助成しました。（助成率1/2以内 助成限度額200万円）

○対象者 県内に事業所を有する中小企業等

○新規採択事業数 4件 交付決定額 8,000千円

②ファンド管理

事業説明会、フォローアップ、審査委員会運営等のファンド管理のための事務を行いました。

(2) ふるさと企業育成ファンド(93,379,494円)

県内中小企業の元気再生につなげるためにふるさと企業育成ファンドの運用益で、県内中小企業の新分野展開や県内ものづくり企業への技術系人材の就職促進に対して助成しました。

①新分野展開スタートアップ支援

新分野展開を行う中小企業が、既存事業の経営資源を活用して取り組む経営の多角化や事業転換に対して助成しました。

(助成率2/3 助成限度額 1,000万円)

○対象事業 既存事業の経営資源を活用した経営の多角化や事業転換

○新規採択事業数 9件 交付決定額 59,481千円

②創業支援事業

新たに起業・創業を行う者に対し、創業等に要する経費の一部を助成しました。(助成率2/3 助成限度額200万円)

○対象事業 創業者が行う地域の需要や雇用を創出する事業

○採択者数 14件 交付決定額 19,828千円

③ものづくり人材育成修学資金貸付支援

県内外の理工系大学院(修士課程・博士課程)に在学し、県内ものづくり企業に就職を希望している学生に対して、修学資金を貸与しました。

○貸与金額 月額6万円

○返還免除条件 県内に本社または生産拠点を有するものづくり企業に就職し、継続して7年間勤務

○貸与決定学生数 15名 貸与額 19,440千円

(3) ふくいの老舗企業チャレンジ応援(57,893,147円)

地域に親しまれている老舗企業に対し、事業継続に必要な店舗改装や設備導入等の取り組みに対して助成しました。(助成率2/3 助成限度額300万円)

○対象事業 創業から30年以上を経過し、商工会・商工会議所と連携して事業計画を策定する小規模事業者に対し、店舗改装等の経費を助成

○採択事業数 26件 交付決定額 59,966千円

(4) ⑧おもてなし産業魅力向上支援事業(66,146,552円)

①店舗改装・設備導入

北陸新幹線県内開業等に向けた観光客の受入れ態勢整備のための店舗改装等の取り組みに経費の一部を助成しました。

(助成率2/3以内 助成限度額300万円)

- 対象者 主に観光客に対して商品等を提供する創業1年以上の中小企業者
- 採択者数 24件 交付決定額 59,775千円

②商品開発

観光客等へ向けたい土産品の新商品開発・販路開拓のための取り組みに経費の一部を助成しました。(助成率2/3以内 助成限度額200万円)

- 対象者 県内の工場で製造する製造業者または卸、小売業者で県内事業者に製造委託するもの。
- 採択者数 8件 交付決定額 13,560千円

(5) ⑧ふるさと企業経営承継円滑化支援事業(19,039,488円)

①事業改善型

事業承継に向けた事業改善のための店舗改装等の取り組みに経費の一部を助成しました。(助成率2/3以内 助成限度額200万円)

- 対象者 代表者が満60歳以上の県内中小企業者。
(助成事業終了後3年以内に承継を行うこと。)
- 採択数 8件 交付決定額 17,989千円

②承継準備型

近親者以外の者に事業承継するにあたり、その準備に必要な企業の価値評価にかかる経費の一部を助成しました。

(助成率2/3～1/2以内 助成限度額20万円～150万円)

- 対象者 代表者が満60歳以上の県内中小企業者。
- 採択数 6件 交付決定額 1,040千円

(6) ⑧学生ベンチャー・チャレンジ応援事業(640,107円)

学生等の創業等の動きを後押し、若者の新しい視点や大学の指導教官のアイデアや助言に基づく創業、新サービスの創出を促進するため、起業にかかる経費や初期段階における活動経費を支援しました。

- 対象者 県産業情報センターの創業者支援オフィスに入居し創業する大学生等
- 交付件数 2件 交付決定額 640千円

(7) 設備貸与(166,427,310円)

小規模事業者等の創業および経営基盤の強化に必要な設備の割賦販売またはリー

スを行いました。また、利用企業に対して状況調査および民間診断員、支援センター職員による巡回指導などを実施しました。

[事業実施状況]

○貸与・リース実績 2件 2,990千円

[債権管理状況]

○正常債権の状況

年度末残額 219百万円 (割賦186百万円、リース33百万円)

○未収債権の状況

年度当初未収債権額 18.7百万円 (4件)

年度内増加額 0.8百万円 (2件)

年度内減少額 1.5百万円 (5件)

年度末残高 17.9百万円 (3件)

[利用状況調査および巡回指導事業の実施状況]

○利用状況調査 38件 巡回指導の実施 38社

(8) 資金管理 (4,515,000円)

創造的企業高度化間接投資事業の債権管理事務を行いました。

技術開発・デザイン振興に関する事業

【公益目的事業4】(312,487,843円)

未来の県内産業を支える企業のモノづくりのための技術開発、新技術の研究開発、国や他機関の公募型の受託事業および補助事業を活用した産学官の緊密な連携・交流、商品企画やデザイン開発力の向上のためデザイナーの派遣や研修、大都市圏で活躍するバイヤー等による商品求評会などを通じて、技術開発・商品開発の促進、経営基盤の強化等を総合的に支援しました。

(1) ふくいブランドものづくり推進

①ふくい産業技術広報 (992,067円)

技術情報を掲載した機関誌「テクノふくい」の発行や、大学や公設試の技術シーズ展示等を実施しました。

○機関誌発行 2回 発行部数500部/回

○展示会出展 (北陸技術交流テクノフェアなど)

②ふくい新技術・新工法展示商談会 (3,790,220円)

県外大手企業等が要求する技術ニーズや製品等と県内企業の技術シーズや製

品とのマッチングを図るため、福井県自動車部品製造協会と共同で全国規模の自動車産業関連の展示商談会に出展しました。

出展企業・機関数 6社 商談件数 77件

③技術研究開発マンパワー育成（541,504円）

将来の技術研究開発を担う人材を育成するため、繊維分野における優秀な県内技術者・研究者3名を表彰しました。また、若手技術者・研究者の海外展示会での先端技術の発表に対して助成しました。

○表彰 繊維技術功績賞 3名

○助成 次世代技術国際発信支援 1件

④オープンイノベーション推進部運営（3,772,792円）

産学官連携の推進を図るための事務を行いました。

（2）産学官連携・交流

①産業技術コーディネート（1,442,966円）

先進施設等の調査を行い、また企業の技術者とともに大学研究室訪問を実施するなど、技術ニーズと研究シーズのマッチングのためにコーディネート活動を行いました。

○IR交流会の開催 148回

○FOIPセミナー開催 1回

○研究会支援 4件

（福井県繊維技術協会、福井県異業種交流推進協議会、
ふくい宇宙産業創出研究会、福井しあわせ健康産業協議会）

○産業技術振興先進地調査

ロボット分野に注力する株式会社ブイ・アール・テクノセンター（岐阜県各務原市）および株式会社田口鉄工所（岐阜県大垣市）の取り組みについて調査

参加者：17名（企業：13、大学：1、県等：3）

②産総研等連携推進（2,959,696円）

産業技術総合研究所（産総研）福井サイトのイノベーション・コーディネータと連携して産総研のシーズと県内企業のニーズのマッチングを行いました。

また、産総研との共同研究に向けた可能性試験調査研究（FS）を支援しました。

○マッチングイベントの開催 4回

○産総研連携研究支援（可能性試験調査研究） 3件

③研究開発創出・補完研究開発支援（４０４，１６５円）

当センターがこれまでに推進してきた産学官共同研究プロジェクトの成果を活用し、実用化を目指して研究開発していく企業の補完研究を支援しました。
その他、冊子「産学官共同研究プロジェクト」を作成・配布しました。

（３）広域的連携技術研究開発

①戦略的基盤技術高度化支援〔経済産業省補助〕（１６６，５４４，８２２円）

中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律に基づく技術分野の向上につながる研究開発からその試作までの取り組みを支援しました。

[研究テーマ]

- A PEEK含浸炭素繊維プリプレグシートの高ブリッド精密成形技術によるX線透過型開胸器の開発・事業化
- B 熱電素子を組み込んだ高効率SiCパワーモジュールの開発
- C 転移性骨腫瘍患者向けカスタムメイド人工骨幹製造技術の確立
- D 特殊側面発光糸を製織できるジャカード織物製造システム、および癒しと安全の機能を提供可能な次世代自動車内装材用織物の研究開発
- E Ti50Ni合金の組織緻密化による細径収縮／高耐久性／高自己拡張型ステントの開発

[研究期間]

- A 平成30年度～令和2年度（3年間）
- B 平成30年度～令和2年度（3年間）
- C 平成29年度～令和元年度（3年間）
- D 平成29年度～令和元年度（3年間）
- E 平成28年度～平成30年度（3年間）

②中小企業等外国出願支援（７，３６２，９６０円）

知的財産を活用して、海外へ事業を展開展開しようとする中小企業に対して、戦略的な国際特許等出願の支援を行いました。

○支援企業数 7社 9件

③北陸産地繊維産業力集結事業（８，５０７，５２８円）

[企業連携体による新商品開発・販路開拓活動支援（助成事業）]

北陸合繊産地において、福井県、石川県の企業が固有の技術・ノウハウをもとに県域を越えた連携の下に行う新商品開発・販路開拓を支援しました。

[助成事業]

○新商品開発・販路開拓（助成率 2／3 助成限度額500万円）

- A 短繊維（天然繊維）を用いた高付加価値織物の開発とストール等最終製品化事業及び販路開拓

B 再帰反射糸を使用した新商品の開発及び販路開拓事業

C ストレッチ極薄生地を使用し、プリント加工されたデザイン性の高い骨盤ベルト等の開発および販路開拓事業

○展示会開催（助成率10/10 助成限度額200万円）

「北陸ヤーンフェア2018」開催

（一般社団法人福井県繊維協会、一般社団法人石川県繊維協会）

出展企業：43企業、大学、機関

来場者数：2,010名

○過去採択者の展示会出展・開催（助成率10/10 助成限度額25万円）

「震災対策技術展」（1グループ）

「プレミアムテキスタイルジャパン」（2グループ）

「八田経編単独展」（1グループ）

④地域中核企業創出・支援（経済産業省委託事業）（6,933,556円）

小型人工衛星の設計・製造技術の習得を支援するため、県内外の大学や研究機関等から講師を招いて、ワーキンググループ活動や研修、先進企業調査を実施しました。

○ワーキンググループ 5回

○実地研修会 3回

○先進企業調査 30企業・機関

⑤地域イノベーション・エコシステム形成プログラム [文部科学省補助事業]

（3,790,919円）

福井大学産学官連携本部およびふくいオープンイノベーション推進機構と連携し、福井大学が有する光の制御技術をコアとした超小型光学エンジンの用途展開、事業化を推進するための支援を行いました。

○ふくい光学エンジン研究会の開催 2回

○各種展示会等調査

○可能性試験委託 2件

⑥研究開発フォローアップ（40,503,690円）

戦略的基盤技術高度化支援等の受託事業について、事後のフォローアップ等を行いました。

（4）受託研究・共同研究（6,632,245円）

県内ものづくり企業等の技術・製品の成長分野への進出を促進するため、県外企業等から研究に要する経費を受入れ、オープンイノベーション推進機構をとおして、受託研究や共同研究を実施しました。

(5) 技術情報化推進 (869, 124円)

福井県工業技術センターの技術開発成果等をインターネットや小冊子で広く周知する事業を福井県から受託して行いました。

(6) デザイン情報提供 (270, 452円)

①デザイン情報の収集・発信

さまざまなデザイン情報を収集し、インターネットや情報誌などを用いて、県内企業やデザイナーに情報を配信しました。

②デザイナーバンクの整備

県内デザイナーを活動別に分類・登録し、企業等に紹介しました。

○登録公開デザイナー数 72名

③デザイン指導相談

伝統工芸、デザイン、サービス、繊維、眼鏡分野等の企業が抱えるデザインに関する課題に対して、職員が相談および指導を行いました。

○指導相談件数 1, 102件

④職員の派遣(審査員、委員、講師等)

福井広告賞、福井県年縞博物館ミュージアムグッズ審査等に審査員として職員を派遣し、デザイン啓発支援を行いました。

○派遣件数 10件

○協力支援業務 1件

(7) デザインラウンジ交流 (1, 057, 188円)

県内産業のデザイン力および市場への販路開拓力の向上を目的に、福井ものづくりキャンパス施設等を活用した展示企画や、大都市圏での展示商談会への支援およびデザイン講習会を実施しました。

○県内企画(実施回数: 3回) 会場: サンドーム福井 多目的ホール

○県外企画(実施回数: 1回) 会場: 松屋銀座

○セミナー(実施回数: 4回) 会場: サンドーム福井 多目的ホール等

(8) 福井ものづくりキャンパス教室運営 (4, 843, 081円)

福井ものづくりキャンパスを、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業、職人、デザイナー、学生など幅広い層を対象に講座・教室等を開催しました。

○講座・教室

[会場] 福井ものづくりキャンパス 多目的ホール、ワークルーム等

・大人のクラフト教室 8回 参加者数 124名

・工作教室	2回	参加者数	900名
・出張工作教室	2回	参加者数	4,298名
・クラフトマルシェ	2回	参加者数	6,000名
・デザイン基礎コース	2回	参加者数	61名
・空飛ぶものづくり文庫			

○広報関係

福井ものづくりキャンパスの講座・教室等をラジオ、インターネット、SNS等を活用して広報しました。

(9) 産業デザインプロデュース (2,846,424円)

①デザイナー派遣

商品企画、デザイン開発、販路開拓等、企業の要請に応じ、県内の専門デザイナーを派遣し、具体的な指導を行いました。

○派遣企業数 6社 派遣回数 33回

②グループカウンセリング

団体、企業グループを対象に、市場動向、商品企画、デザイン評価等共通する課題に対し、第一線で活躍しているデザイナー等の指導によるカウンセリングを行いました。

○指導グループ数 7グループ 指導回数 11回

(10) 福井デザインアカデミー (4,641,503円)

県内中小企業の経営者や商品開発担当者に対して、デザインマネジメントや商品開発手法、デザインプロモーション戦略等に関する研修を実施しました。また、社会のニーズに沿ったテーマ性のあるデザイン企画展示および、著名デザイナー等による講演会を実施し、デザイン開発事例を具体的に紹介しました。

①デザインセッション

○展示会 来場者数：13,000名

○講演会 受講者数 190名

②ブランディング&商品開発講座

○受講者数 14名

○成果展 3社

(11) ⑨産地新ブランド創出・流通サポート (7,983,000円)

首都圏をはじめとする全国の百貨店や大規模商業施設と連携し、伝統工芸や繊維、眼鏡等の県内企業に対し、新ブランドの創出や新商品開発、新たな流通経路の確保を含めた総合的な支援を行いました。

- 事前セミナー 受講者数：70名
- 「経営とブランディング」講座 参加企業：21社（22名）
- 県外販路開拓（実施回数：2回）
- 成果展 3社

人材育成に関する事業【公益目的事業5】（120,766,420円）

企業等の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

（1）人材育成《集合研修》（4,989,278円）

多様な企業のニーズに応じた研修テーマを設定して、集合研修を実施しました。

- コーチングやマーケティングなどの講座 11講座 受講者数 261人

（2）福井県中小企業産業大学校運営（54,228,974円）

①中小企業産業大学校施設運営

指定管理者として、県内中小企業における研修や会議等に必要の経営者や従業員の経営管理または技術に関する研修等に必要の施設・設備の提供や、維持管理等の運営業務を行いました。

- 施設貸出件数 2,069件

②経営・技術人材育成

中小企業の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

- 新社会人研修や現場改善などに関する研修 20講座 受講者数468人
- 眼鏡およびその他の専門分野の
 - 生産技術に関する研修 4講座 受講者数 76人
- 産業学院連携実務講座 3講座 受講者数 53人
- 公開講座 3講座 受講者数321人

③学びなおし支援

中小企業産業大学校に、「学びなおしサポートセンター」を設置し、働きながら大学で学ぶなどスキルアップを目指す従業員の学びなおしを支援しました。

- 大学等の講座情報の収集および提供
- 自主学習支援ブースの設置 利用人数 1,508名
- 通信制大学の入学説明会等の誘致
 - 入学説明会（合同入学説明会 1回 21大学参加、科目試験等 14回）

社会人の「学びなおし展」 会場 福井県立図書館
○キャリアアップに関する相談実施
相談件数 専門家 10件 職員 36件

(3) ものづくり企業生産性向上支援 (14,807,295円)

○ものづくり改善インストラクタースクール

県内ものづくり企業の生産現場の問題把握や業務改善の助言・指導を行う人材を育てる「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を開講しました。

受講者 : 13名

○ものづくり改善インストラクター派遣

スクールを修了した企業OBを専門家として、有料で県内企業に派遣し、具体的な現場改善活動を支援しました。

インストラクター派遣数 6企業 延べ30回

○ものづくり改善インストラクターフォローアップ研修 4日間

○ものづくり改善インストラクタースクール成果発表会 2回

企業等の個別の要望に対して実施する経営支援等に関する事業【収益事業1】

(5,232,099円)

中小企業等の成長促進のため、公益事業で行っている事業では対応のできない、企業等が求める個別具体的な課題解決に対し、専門性の高いニーズに対応するため、当センターが持つ支援機能およびネットワークを活用して支援を行いました。

(1) 経営コンサルティング (612,784円)

企業の現状分析・課題の抽出・改善策の提案を行なう企業診断を実施しました。診断後、継続的なフォローや提案内容の実践に対する助言を希望する企業については、課題克服に向けたコンサルティング事業を行いました。

○実施件数 5件 (診断3件、コンサルティング2件)

(2) 教育コンサルティング (2,960,311円)

個々の企業の状況に合わせたオーダーメイドの研修プログラムを提案・実施しました。

○実施件数 12件 (9社)

(3) デザイン受託 (1,143,466円)

行政、公共団体等からデザイン制作等を受託して、デザイン振興部の企画管理のもと、県内デザイナー(デザイナーバンク)を活用して制作を行いました。

○受託件数 1件

(4) 企業情報ホームページ管理 (70,351円)

県内企業の受注を促進するため、各企業の技術や設備を紹介するホームページ「元気企業Webサイト」をリニューアルし、情報の提供を行いました。

また、ホームページ掲載企業の受注機会を創出するため、県外の発注企業を招聘し、県内で「福井県元気企業ものづくり商談会」を開催しました。

○掲載企業数 160社

法人事業 (55,520,659円)

事務所および情報機器等の借上・運営や、資質向上を図るための職員の研修など、法人の運営・管理を行いました。

①法人運営に要する事務局経費

②職員能力開発強化

職員の資質向上を図るため、中小企業基盤整備機構の中小企業大学校で開催される研修等に職員を派遣しました。

○研修派遣職員数 3人